



愛・地球博「自然体感プログラム」は、約半分を自然のままに残している会場で、4つの特色ある自然そのものを体感しながら、テーマである「自然の叡智」を考える機会を提供します。  
 共通事業としては、「シンポジウム」「会場外の植林ボランティア活動」「UNEP国際こども環境会議への協力」があります。

## 森の自然学校

## 里の自然学校

## グローイング・ウイレッジ

## サツキとメイの家

(代表等)



岡島成行



稲本正



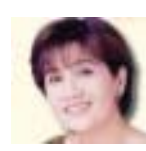
川嶋直



城戸真亜子



ジョン・ギャスライト



マリ・クリスティーナ



宮崎吾朗



サツキとメイの家  
 (二馬力・徳間書店)

(コンセプト)

### 自然から学ぶ

「光」「水」「森」についてテーマ展示を行い、インタープリターが参加・体験型の環境教育プログラムを提供する。

### 自然と生きる

日本独特の自然風景である古窯など里山の体感をとおし、優れた環境共生のしくみや先人の知恵・技術などを体験してもらう。

### 自然と遊ぶ

木登りなどの遊びをとおして、子供たちに自然の叡智「グローイング(育む・育てる)」を体験してもらう。

### 自然に暮らす

森林の中に「となりのトトロ」のサツキとメイの家を再現建築し、古きよきスローライフを体感できるプログラムを実施する。

(具体例)

- ・インタープリター付きガイド
- ・セルフガイド
- ・体験工房

- ・インタープリター付きガイド
- ・ワークショップ
- ・市民プロジェクトとの連携

- ・樽の道具
- ・グローイングファ ニチャー
- ・フォレストホスピタル
- ・ツリークライミング
- ・モンゴリ・ドングリ企画

- ・映画と同じ建物に触れる
- ・昭和30年代の生活を体感
- ・ワークショップ

(場所)

長久手会場・南東の森林体感ゾーン

瀬戸会場・里山遊歩ゾーン

長久手会場・北西の遊びと参加のゾーン

長久手会場・南東の森林体感ゾーンの一角



瀬戸会場

里の自然学校

グローイング・ヴィレッジ

サツキとメイの家

長久手会場

森の自然学校

森の中での、「自然」、「人」、「アース・アート」などとの出会いふれあい、五感と想像力を使うプログラムへの参加・体験をとおして、自然のしくみについて学んだり、自然と人との関係性を見直すための「気づき」を得るきっかけの場を提供します。

## 南の森(仮称)

### インタープリター付きガイド

博覧会会場の中に広がる森を舞台に、インタープリターが自然の中へ案内します。インタープリターは参加者がより深く自然を体験するための「ヒント」を投げかけたり、自然や展示の発するメッセージを感じられるようお手伝いしたり、さらに音楽やパフォーマンスなどで森の中での楽しい時間の演出をします。「光」「水」「森」をテーマにしたプログラムを提供するだけでなく、開催期間中にも刻々と変化する会場の自然そのものをテーマにした季節のプログラムも提供します。

### セルフガイド

参加者には始めに簡単なオリエンテーションを受けていただき、それぞれの興味に応じ体験するコースを決めてもらいます。そして歩き方をまとめた「ガイド冊子」を見ながら森の中へ散策に出かけます。「光小屋」「水小屋」「森小屋」等のそれぞれのプログラムステージにおいて、待ち受けている「インタープリター」から、解説を聞いたり体験プログラムを受けたりできます。

### 体験工房

所要時間が5分位のものから、30分程度の屋内中心、工作中心の体験プログラムを用意します。生み出された作品の一部は、そのまま会場のオブジェとしても使いたい。来訪者が持ち帰ることができるようなお土産的な作品づくりも提供します。「日本文化」にこだわり、古くから伝わる手工芸、あそび、芸術、自然と融合した活動などを積極的に取り入れます。

## 北の森(仮称)

### 「絵本」等によるセルフガイドウォーク

入り口で渡す「絵本」や「ワークシート」などにナビゲートされ、参加者が自分のペースで森の中を散策できます。今まで自分が持っていなかった新たな視点を持ち、様々な体験をしながら森の中を散策することができます。参加者は、この「絵本」に導かれて歩くことで、森からのメッセージを「絵本」を通じて体感しながら、自分たちの好きなペースで森を楽しむことができます。

なお、環境への影響に配慮するため1日の入場者数を制限する予定です。

## 施設概要

### 『かめ池本校』:森の学校!

「森の自然学校」の入口施設。木造の学校風のつくりとなっていて、体験プログラムへの期待感を高めます。



### 『光小屋』:光と命の関係をを感じる!

太陽の恵みを得て、植物は光合成をして酸素を出し、動物は酸素を取り込み、地球上の全ての生命体は生きていくことができるのです。



### 『水小屋』:水の流れと行方を探る!

山に降りそそいだ雨は、森を潤し、大地にしみこみ、川となって私たちの暮らしの中を流れ、海へとそそぎます。



### 『森小屋』:森にふれ、森で遊ぼう!

森からの恵みは、衣・食・住すべてを豊かにし、多くの文化や伝統を育ててきました。





インタープリターと森の中へ、楽しい体験プログラムに出かけます。



## 演劇パフォーマンス

インタープリターは演技上手！演技風のパフォーマンスで参加者にメッセージを送ります。



## 体験プログラム例

「森の隠れ家づくり」。体験や遊びを通して、人と自然との関わりについて何らかの気づきが得られます。



## 音楽パフォーマンス

インタープリターは芸達人！時には太鼓など用いた音楽パフォーマンスも行います。



## 展示との連動プログラム

展示とプログラムの連動で、来訪者の参加体験意欲を盛り上げます。



## アースアートプログラム

森の中の素材と、自分の五感を使ったアートプログラム。新たな視点の獲得や、自然美の発見などのきっかけとなります。

土にふれるプログラムの体験や里山自然の体感をとおして里山の持つ優れた環境共生のしくみや、先人の知恵、技術などを学び、楽しみながら人と里山自然の関わりあいについて「気づき」を得るきっかけの場とする。

## インタープリター付きガイド

この「里の自然学校」ではすべてインタープリター付きガイドとします。インタープリターの提供するいくつかのアクティビティ体験を通して、参加者が自然をはじめ歴史的、文化的背景も含めた会場の里山のメッセージを読み取り、プログラムのテーマ、さらには「里の自然学校」のテーマを伝えることを目的とする。細かい説明を行うのではなく、“体験”を前提とし、感性を媒介に会場の里山自然を体感し、楽しみながら人と自然の関わりあい気づくような内容とします。

## 土の小径コース

「土」と「人」との関わり、「土から生まれ、土へ還る」ことへの畏敬の念、「土と生命の神秘的な関係性」などを体験プログラムを通して体感します。

- また、暮らしと土とのつながりへの気づきを促します。
- ・土の技 素材としての土、創作、土とエネルギー利用
  - ・土の伝説 築く、儀式、人と自然との調和
  - ・土への回帰 森林土壌、物質循環

## 里の小径コース

季節の移り変わりに応じた人の暮らしと、自然との関係性から育まれてきた知恵の集積としての日本人の文化を瀬戸会場の里山自然をフィールドに、「農業」と「フォークロアデザイン」という視点から体感します。

- ・里山の暮らしの風景の再現
- ・展示を通して地域の伝統文化の再現
- ・世界と日本の生活や文化の比較

なお、環境への影響に配慮するため1日の入場者数を制限する予定です。

## 施設概要(名称は全て仮称)

### 『古窯小屋』:土の技!

里山と古窯の歴史の展示・解説。土との出会いのワークショップ。(土に触る・こねる陶丸づくり等)

### 『精霊の丘』:土の伝統!

里山地域(海上の森、尾張地区の山並)の展望と解説。山頂の休憩所。森の社の儀式(奉納、祭事)の場。森の精霊のオブジェによる神的イメージづくり。

### 『山桜の丘』:土への回帰!

ドーム状の土の中に入り、土との一体感を体感する。土に寝ころび、地表の視点からヤマザクラの木立を眺める。





インタープリターと里山の中へ、楽しい体験プログラムに出かけます。



**疑似体験プログラム**

土のドームに入ったり、落ち葉に埋もれたり、「土」の疑似体験=自然の構成物になることで、新たな視点の獲得を促す。



**歳時記プログラム**

里山には四季折々、季節ごとの仕事、行事、習慣などがあります。体験プログラムも季節に合わせた内容を用意します。



**土に触る。土に触る**

会場周辺は古くから窯業が盛んで、土と人との関わりが深い。土をこねてモノづくり体験をします。



**里山文化の体験例**

里山に残る先人の知恵、技術、風習などを体験プログラムを通して学びます。木ん馬そりでの輸送体験。



**自然への感謝**

かつて、儀式・お祭りで森の神や精霊へ捧げものをし、感謝の念を示したり、豊穰を祈ったことを体験プログラムで再現。

## グローイング・ヴィレッジのコンセプトと展開イメージ

### <コンセプト>

#### 新しい森の体験コンセプト“ Growing”

Natures Wisdom is Growing  
Growing Peaces,  
Growing Friendships,  
Growing Families,  
Growing Culture,History,  
Growing is a Common Goal

グローイング・ヴィレッジは、新しい森の体感機会を創造していく事業です。

「自然の叡智」に学び、自然との共生を現実のものとしていくために、森や木々の生命を通して、自然の不思議と楽しさを伝えていきます。そして人間と自然の積極的な交流・交歓こそが、我々の生活をさらに豊かなものとしてくれることを体感できる機会を提供します。

特に、現代の目まぐるしい都市生活を営む我々に必要なことは、自然の持つ壮大な時間感覚とその奥深さを知ることにあります。そのために、森の生命である木々を通して「育てる・育む・成長する」を皆で共に体感できる場を作りたいと思います。そして、この森を“グローイング”をコンセプトに、環境の世紀に求められる新しい生活スタイルへの様々な気づきをもたらしてくれる場としていくことを目指します。

### <展開イメージ>

「グローイング・チェアー」



生きたままの木が森のベンチになったり、不思議な形をしたサーカスツリーとなるグローイング・ファニチャー。

「サーカス・ツリー」



#### グローイングの目指すもの

- ・森や木々の生命への理解を育む
- ・木々を育て、自然を愛する心を育む
- ・森の新しい楽しみ方を皆で育てていく

「グローイング・ホーム」



日本で昔から使われてきた樽のリビングルームの中で、世界の森のコンテンツが公開されます。

「ツリークライミング」



誰もが楽しく、安全に木に登ることができるツリークライミング。子供たちに大人気のプログラムです。

